

- [製品概要](#)
- [製品仕様](#)



IBM BladeCenter-Hの筐体に最大14枚まで格納し、コンパクトながら圧倒的なパフォーマンスを実現

ハイライト

BladeCenter® JS21にモデル41Jが新登場

BladeCenter JS21は、AIX 5L (UNIX) およびRed Hat Enterprise Linux/SUSE Linux Enterprise Server (Linux on POWER) 環境をBladeCenterに統合可能なブレード・サーバーです。Powerアーキテクチャーならではのハイ・パフォーマンスと低消費電力を両立させた特長を持ち、BladeCenterの高密度でスケール・アップ可能なメリットと合わせて、お客様のオンデマンドな要求に応えます。JS21は従来のJS20を大幅に見直し、パフォーマンスおよび信頼性が強化されました。JS21は、64ビットPowerPC 970MPプロセッサ搭載の2Way/4Way SMP対応によるハイ・スループットを実現するブレード・サーバーです。フロント・バス・スピードは従来比27%アップ(8842-41J vs. 8844-31J)における比較)。より高速なプロセッサを活かすため、プロセッサ・コアあたりのL2キャッシュ容量を2倍に、メモリー・コントローラーはDDR2メモリー・インターフェース(400/533MHz)およびハイパー・トランスポート・チャンネルを提供します。ハイパー・トランスポート・チャンネルに接続されるI/Oコントローラーは、16x PCI-Expressインターフェース(BladeCenter-H搭載時)、PCI-Xスロット、2ポート・ギガビット・イーサネット・コントローラー、SAS/RAIDコントローラー、Serial-Over-LANポートが接続されており、高性能でバランスの取れたプラットフォームを実現しています。IBM BladeCenterはブレード毎に、32ビット/64ビットLinux、AIX 5Lのアプリケーションを稼働させることができます。格納装置であるIBM BladeCenterには、HS20同様、最大14枚のJS21を搭載できます。JS21は、HS20/HS40/LS20との混在も可能で、お客様の個々の要件に合わせて柔軟に構成できます。

シングル・ワイドの筐体にCPU、メモリー、ハードディスク等をコンパクトに実装

BladeCenterシリーズは、その高密度が大きな特徴です。JS21では、1MBのL2キャッシュ(ECC)をコア毎に搭載し、2個のギガビット・イーサネットを標準装備。さらに、最大16GBのメモリーや最大146GBまでのハードディスク、拡張カードなどを、1枚のJS21に搭載することができます。外部への接続は、ファイバー・チャンネル接続に加え、Myrinet/InfiniBand/iSCSI 接続に対応し、外部との超高速通信をサポートしています。

また、JS21やHS20、HS40などの各ブレードは、9U※サイズの筐体である

BladeCenter-Hおよび7U※サイズの筐体であるBladeCenter1台に、最大14枚まで搭載できます。42Uサイズのラックなら、最大84枚のJS21(合計336プロセッサ/BladeCenterの場合)を構成することが可能であり、際立って高密度なサーバー環境を提供します。BladeCenterシリーズは、優れた処理性能を実現することはもちろん、ご利用の環境やニーズに応じて拡張できるスケール・アウトなデザインによって、柔軟なシステム構成に対応します。

JS21は厳しい熱環境においても安定した動作ができるよう、クロック・スピードを落として消費電力・発熱量を抑えるなど画期的な可用性を実現します。厳しい温度環境でもシステムを止めず、長時間の安定した連続稼働するサーバーに求められる、より高い信頼性を発揮します。通信やIPテレフォニーなどの次世代統合ネットワーク環境で、スケーラブル、そして高いコストパフォーマンスを発揮します。

Advanced POWER Virtualization仮想パーティションが利用可能に

Powerアーキテクチャーを採用しているJS21では、Virtual I/O Server (VIOS)を導入することにより、プロセッサ・コアあたり最大10個の仮想パーティションを利用することができます。WebサービングやITインフラストラクチャー、eメール等のAIX 5L V5.3およびLinuxアプリケーションをBladeCenter環境に統合することができ、物理的な資源の統合をさらに推し進めることができます。仮想化の機能は、Webアクセス可能なVirtual I/O Serverのコンポーネントである、統合仮想化管理インターフェースにより行うことができます。

コンパクトなサーバー環境に、IBMならではのハイエンドの信頼性、可用性をプラス

BladeCenter JS21はホット・スワップに対応、メモリーにはECCおよびChipkill機能を採用し、ハードディスクではミラーリングが可能となるなど、可用性の向上を実現しています。さらにFFDC (First Failure Data Capture)により、重大なエラーの発生を防止します。一方、JS21を格納する筐体、BladeCenter/BladeCenter-H/BladeCenter-Tはホット・スワップ対応電源モジュールを装備し、堅牢な電源構成を実現。ホット・スワップ対応のブローワーの装備により、重要な部位の温度をモニターしながら、信頼性と優れた管理を実現するための冷却機能を提供します。さらに、追加のギガビットイーサネットとファイバー・チャネル・スイッチ・モジュールをサポートするためのホット・スワップ対応モジュール・ベイを装備しているほか、各ブレードをひとつのコンソールから管理可能にするインターフェースを提供。障害箇所を容易に発見し、ダウン時間と管理コストを最小化する、LightPath診断とオンボード上の診断機能も装備しています

※ 1U=約44mm

IBM、IBMロゴ、AIX、AIX 5L、BladeCenter、POWER4、PowerPC、pSeriesは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml (US)をご覧ください。

Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標。

UNIXは、The Open Groupの米国およびその他の国における商標。

他の会社名、製品名、およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標。

- [製品概要](#)
- [製品仕様](#)

仕様詳細は下記をご覧ください。

BladeCenter JS21製品仕様

| | | |
|----------------------|---------------|--|
| モデル | 製品名 | BladeCenter® JS21 (7988-J21) |
| プロセッサ | 搭載CPU数 | 2/4 |
| | タイプ | PowerPC 970MP プロセッサ シングル・コア/デュアル・コア |
| | 内部周波数 | 2.7GHz ^{※1} /2.5GHz ^{※2} |
| | フロント・サイド・バス | 1.35GHz ^{※3} /1.25GHz ^{※4} |
| | L1キャッシュ | 32/64KB (命令/データ) /1コア |
| | L2キャッシュ | 1MB /1コア |
| 主記憶 (chipkill対応) | タイプ | PC2-3200 CL3 ECC DDR2 SDRAM RDIMM (400MHz) PC2-4200 CL3 ECC DDR2 SDRAM RDIMM (533MHz) |
| | 標準容量 | 1GB (400MHz)/2GB (400MHz) |
| | DIMM装着状況 | 2 × 512MB/2 × 1GB |
| | DIMMソケット数(空き) | 4(2) |
| | 最大容量 | 16GB ^{※5} |
| ビデオ・サブシステム | | サポート無し |
| ディスク・インターフェイス | タイプ | SAS RAIDコントローラー搭載(RAID 1対応) |
| | チャンネル数 | 2 |
| | 内部コネクタ | 2 |
| | 外部コネクタ | 0 |
| 補助記憶装置(内蔵) | 標準HDD容量 | 0GB |
| | 最大HDD容量 | 292GB ^{※6} |
| | HDDベイ(空き) | 2(2) |
| PCI-Xスロット | | 1 |
| ファイバー・チャンネル・カード | | オプション |
| イーサネット・インターフェース | 標準 | デュアル全二重ギガビット |
| | 拡張(オプション) | 拡張カード(2ポート) |
| エネルギー消費効率 | | 注釈参照 ^{※7} |
| サポートOS ^{※8} | UNIX | AIX 5L for POWER V5.2/5200-08 Technology Level (APAR IY77270+APAR IY80493) 以降 AIX 5L for POWER V5.3/5300-04 Technology Level (APAR IY77273+APAR IY80499) 以降 |
| | Linux | SUSE Linux Enterprise Server 9 (SLES9) SP3以降 SUSE Linux Enterprise Server 10 Red Hat Enterprise Linux AS 4 for POWER (RHEL4) Update3以降 |

| | |
|-------------|--|
| 付属品 | インストール・ガイド、ドキュメントCDパック |
| セットアップ、保証条件 | カスタマーセットアップ、ティアード・ワランティ ^{※注} 、CRU、3年間オンサイト修理・保証サービス |

※1 BladeCenter-H へ搭載時の値。それ以外のシャーシへ搭載される場合は、2.6GHzとなります。

※2 BladeCenter-H へ搭載時の値。それ以外のシャーシへ搭載される場合は、2.3GHzとなります。

※3 BladeCenter-H へ搭載時の値。それ以外のシャーシへ搭載される場合は、1.3GHzとなります。

※4 BladeCenter-H へ搭載時の値。それ以外のシャーシへ搭載される場合は、1.15GHzとなります。

※5 4GBメモリーを4つ装着した場合。(標準で装着されている2枚のDIMMメモリーを取り外し、4GBメモリーに付け替える必要があります。)

※6 146GB HDDを2個使用した場合。但し、SFF (Small Form Factor) 非対応の拡張カードを搭載する場合は1個のみ。

※7 エネルギー消費効率とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(昭和54年法律第49号。以下「省エネルギー法」という。)で定める測定方法により測定された消費電力を省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。当機器は、省エネルギー法対象外の機器となります。

※8 JS21で稼働するLinuxディストリビューションは、各ディストリビューションの販売元から直接入手することが可能です。国内におけるLinux製品のディストリビューション/サポートに関する最新情報は、各Linuxディストリビューターの販売元にお問い合わせください。

※注 ティアード・ワランティについて

IBM BladeCenter JS21では、保証期間において、以下の基本保証条件が適用されます。

サービス提供日: 月曜日～金曜日(国の祝日および年末年始(12月30日～1月3日)を除く)

サービス提供時間: 9時～18時

原則として翌営業日の対応となります。

上記以外の時間帯は「IBM時間制サービスのご案内」に従ってサービスを提供し有償となります。時間帯は変更の可能性があります。

JS21、その他のPowerアーキテクチャー上でのLinuxについての最新情報は、以下のホームページをご参照ください。 [Linux for Power](#)

IBM、IBMロゴ、AIX、AIX 5L、Chipkill、BladeCenter、POWER4、PowerPC、pSeriesは世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml(US)をご覧ください。

Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標。

LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における商標。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれの各社の商標。